

平成 31 年度使用高等学校
(第 1 部)
教科書編集趣意書
国語 (現代文 A) 編

目次

	ページ
015 三省堂 現代文 A.....	1
017 教出 現代文 A 青春文学名作選 — 歴史の中の青春.....	3

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
15 三省堂	現A 303	現代文A 代表著作者 中瀧正堯・岩崎昇一

編集の基本方針

言語文化への理解を深め、言葉と生活を結び、言葉によって考え、
言葉によって主体的に人間・社会に関わる心を育成する教科書



編集上の留意点と特色

● 全体の構成

確かな言葉の力を身につける第一章から第五章と、それらの学びを豊かに展開する材料としての資料編との構成としました。第一～四章は「現代の文化を読む1～4」、第五章は「近代の小説を読む」と題し、それぞれの章では読むことを中心としつつ考えて書くところまでを学習活動として取り入れています。これらを年間カリキュラムとして有機的に構成・展開することで、多様な学びの可能性が開かれ、学習者の言葉の学びが主体化し、豊かになることが期待されます。

● 随想・評論

読書・社会・芸術・生命・国際化・勤労など現代的な諸課題を取りあげつつ、学習者が意欲を高め興味をもって取り組めるよう変化に富む教材を計7本選びました。また、国語総合の到達点から円滑に現代文Aの学習へと展開できるよう教材の内容を精選し、学習者の発達段階に合わせて平易なもの・親しみやすいものから次第に程度の高いものへと進むよう、配列の順序にも意を用いました。

● 小説

学習者に身近な話題や書き手による現代作品と、近代の名作から厳選した教材を計4本。加えて、各章に「文学の名作」として小説9本（抄録）と詩歌2本を選びました。また学習者が、文学に対する興味・関心を持続して積極的に読書し、自らの人生を豊かなものにすることができるよう、学習の手引きに「考えを深める学習のねらい（価値目標）」と「言葉の力をつけることを目指した目標（技能目標）」を提示したり、学習課題を学習の流れに沿って配置したりするなどの工夫をしました。

● 文章を視写しよう・表現プラザ・日本語エクササイズ

実際に文章を書き写すことで文章に対する理解が深まる「ウォーミングアップ 文章を視写しよう」と、語彙の拡充を図り日常の言葉遣いへの気づきをとおして言語への理解を深めることができる「日本語エクササイズ」を各章に設けています。また、発想を言葉に変換する実践的トレーニングの場として「表現プラザ」を置きました。全て短時間で取り組み、成果が目に見えるよう工夫されています。

● 資料編

読むことをとおして、自らの考えを深めるだけでなく、それを相手に伝えることまでを目指した時に手助けとなる考え方や方法、知識などを示しました。

第一章

現代の文化を読む1

ウォーミングアップ……	文章を視写しよう	
随想……	求めるものに答えてくれる	三浦しをん
表現プラザ1……	絵画をもとに物語を作ろう	
随想……	最初のペンギン	茂木健一郎
日本語エクササイズ……	対義語・類義語	
文学の名作1……	あひびき 舞姫 五重塔	

第二章

現代の文化を読む2

ウォーミングアップ……	文章を視写しよう	
小説……	アマガエル	太田光
小説……	旅する本	角田光代
日本語エクササイズ……	四字熟語	
文学の名作2……	たけくらべ 蒲団	

第三章

現代の文化を読む3

ウォーミングアップ……	文章を視写しよう	
評論……	眼差しを交わす喜び	高畑勲
表現プラザ2……	広告の世界 キャッチコピーコンテスト	
評論……	絶え間のない流れの中にある生命	福岡伸一
日本語エクササイズ……	敬語	
文学の名作……	こころ 羅生門	

第四章

現代の文化を読む4

ウォーミングアップ……	文章を視写しよう	
随想……	境目	川上弘美
評論……	モード化する社会	鷺田清一
評論……	人はなぜ働くのか	姜尚中
表現プラザ3……	自分の思いを表現する	
日本語エクササイズ……	ことわざ・慣用句	
文学の名作……	初恋 サーカス	

第五章

近代の小説を読む

ウォーミングアップ……	文章を視写しよう	
小説……	夢十夜	夏目漱石
小説……	山月記	中島敦
日本語エクササイズ……	わかりやすい文章	
文学の名作……	伊豆の踊子 赤い繭	

資料編

表現の実践1 小論文・作文を書く / 表現の実践2 志望動機・自己PRを書く / 表現の実践3 面接を受ける
 敬語のまとめ / 手紙の書き方 / 原稿用紙の使い方 / 近現代文学史 / ことわざ・慣用句 / 四字熟語

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
17 教出	現A 302	現代文A 青春文学名作選 ——歴史の中の青春 代表著作者 井口時男

編集の基本方針

1. 「現代文A」の目標に掲げる，生涯にわたって読書に親しむ態度と主体的に文章を読む姿勢を育てることを意図して，小説を主な文種として編集しました。
2. 編集コンセプトを「青春文学名作選」とし，青春期の生徒に，同年代の若者の姿や心情を描いた近代文学の名作を多く提供します。

編集上の留意点および特色

1. ジャンル 小説を中心に，詩歌，随想・評論の各ジャンルをそろえました。生徒の言語感覚の涵養に資する，格調が高く，定評のある文章を選びました。
2. 配列 時代区分は，大まかに，現代，戦後，昭和戦前期，大正時代，明治時代に区切りました。生徒の学習段階を考慮して，作品に親しみやすいように，作品に描かれた時代を基準に，現代から過去へとさかのぼる形で配置しました。
3. 小説 小説は，生徒が豊かな言語文化にふれ，感情移入による追体験をとおして読解力を育成するに最もふさわしいジャンルといえます。サブ・コンセプトを「歴史の中の青春」とし，日本の激動の歴史の中で先人たちが苦悩し苦闘した跡を追体験できるようにしました。文学史の大まかな理解と文学的教養の形成に役立つことをねらい，村上春樹，山川方夫，三島由紀夫，林京子，太宰治，中島敦，川端康成，森鷗外の青春文学の名作を取り上げました。生徒は，日本語表現の精華に接して読書する喜びを知るとともに，青春期というものには時代を越える普遍性があることを確認できます。また同時に，現在の自分自身を歴史の中で相対化する広い視野をもつこともできます。
4. 随想・評論 歴史と社会という視野を通じて，生命の尊さや自然の美に感動する心の大切さを育てる教材を選びました。論理的思考力を充実させ，日本語の伝統と文化への愛情を育み，現在の自分を歴史と外国文化との比較の中で相対化し，国際社会の平和に寄与する精神を育成するように配慮しました。
5. 詩・短歌 戦後から明治までの，歴史を背景にした韻文として象徴的で，生徒の感性を高める作品を精選しました。
6. 小説の読み方を学ぶコラム 小説単元の後に，作品のもつ可能性を多角的に引き出し，その作品から得たものを発展的に応用できるようにするため，「ステップアップ」を設けました。
7. 読書案内 各時代の歴史と社会状況についての基礎知識を補うとともに，その時代の青春を描いた文学作品へと生徒の読書を促します。

特に留意した点

1. 教育基本法・学校教育法への対応 主に教育基本法の第2条「教育の目標」、第3条「生涯学習の理念」および、学校教育法の第51条「高等学校における教育の目標」などを踏まえました。
2. カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面 色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、全ての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。
3. 環境にやさしい教科書 教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

教科書の構成

教科書の単元構成	学習指導要領	教科書の単元構成	学習指導要領
1 随想 一 言葉を友人に持とう 寺山修司 美しい時間 加藤周一	(1)アイウエ (2)アイウ	6 小説 三 女生徒 太宰 治 悟浄歎異 中島 敦 ステップアップ3 「自意識過剰」の 若者たち 読書案内3 戦争へ 昭和初期の 青春	(1)アイウエ (2)アイウ
2 小説 一 鏡 村上春樹 他人の夏 山川方夫 白鳥 三島由紀夫 ステップアップ1 一人称の語りと 三人称の語り 読書案内1 戦後の青春	(1)アイエ (2)アイウ	7 詩 二 夜明け前のさよなら 中野重治 汚れっちまった悲しみに…… 中原中也	(1)アイウ (2)アイ
3 詩 一 喪失ではなく 吉原幸子 死んだ男 鮎川信夫	(1)アイエ (2)アイ	8 小説 四 伊豆の踊子 川端康成 ステップアップ4 二人のノーベル 賞作家 読書案内4 自由の息吹 大正時 代の青春	(1)アイウエ (2)アイ
4 小説 二 空缶 林 京子 ステップアップ2 体験に基づく小説 読書案内2 戦争と青春	(1)アイウ (2)アイウ	9 評論 私の個人主義 夏目漱石	(1)アイウエ (2)アイウ
5 随想 二 人生 芥川龍之介 旅について 三木 清	(1)アイ (2)ア	10 短歌 みだれ髪 与謝野晶子 一握の砂 石川啄木	(1)アイエ (2)アイウ
		11 小説 五 舞姫 森 鷗外 ステップアップ5 近代文学と文体 読書案内5 明治 青春の誕生	(1)アイウエ (2)アイウ
		付録 近現代文学史年表	